

## 2021年度 教員免許状更新講習 講習概要

領域CD	講習名	講師	講習の概要
必修 2001	教育の最新事情	荒木 寿友(教職研究科 教授) 春日井 敏之(教職研究科 教授) 神藤 貴昭(教職研究科 教授) 山岡 雅博(教職研究科 教授)	本講習では教員免許状更新講習の必修領域である「教育の最新事情」に関する講義を展開します。「イ 国の教育政策や世界の教育の動向」、「ロ 教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「ハ 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「ニ 子どもの生活の変化を踏まえた課題」の各事項を含んでいます。
選択必修 2002	道徳教育の今日的課題と授業づくり	荒木 寿友(教職研究科 教授)	本講習では、道徳教育の現状を捉え、昨今の教育改革の流れを踏まえた上で、学習指導要領における道徳教育の位置づけ、これからの道徳教育について考察を行います。また、道徳科においてどのように授業を展開していくのかについて、教材の分析方法や発問、指導案の作成等の点から扱います。また評価をどのように実施するのかについても扱います。
選択必修 2003	国際理解教育の進め方	森田 真樹(教職研究科 教授)	グローバル時代をむかえ、学校教育における国際理解教育の重要性は年々高まっている。国際理解教育は、英語教育や外国理解教育と同じではなく、また、イベント的な企画をすることもできない。本講習では、国際理解教育や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の基本原則を概説し、各学校での実践事例を受講生の間で共有しながら、各学校の実情に応じた国際理解教育のプログラムや授業を実施するための基本的知見の理解を目指す。
選択必修 2004	学校教育相談の実際	中村 健(経済学部 教授)	治療的教育相談と育てる(予防・開発的)教育相談、生徒・保護者面談の方法、いじめ、不登校、スクールカウンセラーとの協働、チーム援助会議の実際、教育相談コーディネーターとチームとしての学校、などをキーワードとして教育実践に生かす教育相談の在り方・考え方を理解することを目指します。
選択 2005	コミュニケーション力を育て 深い学びをめざす 英語教育の実現のために (新学習指導要領への対応を含む)	湯川 美子(文学部 教授)	まず①英語教授法に関する必要不可欠な理論と新学習指導要領の改革内容を理解します。その次に②コミュニケーション力を育て深い学びを目指す際に必要な具体的な教授方法(英語で授業するためのフォーマットと産出技能の指導法や評価の仕方)について学びます。③さらに、「英語で」教科内容を教えることを取り入れた教育手法(内容ベース、CLIL)についても、今後の英語教育における課題ととらえ、その基礎知識を取得します。
選択 2006	興味関心を引き出す数学授業	田中 博(教職研究科 准教授)	数学は学力差が大きく、好き嫌いが激しい科目です。数学が苦手な生徒の中には、計算が苦手なことだけで、自分は数学が出来ないと自覚してしまっている生徒も少なくありません。本来、生徒は様々なことを知りたいと思い、あれこれ考えることが好きはずなのに、数学が苦手と思っている生徒は、数学学習の中では考えることを避けてしまいます。生徒が考えるために、どのような工夫や配慮が必要なのかを考えてみたいと思います。
選択 2007	「主体的・対話的で深い学び」を実現する国語科の授業づくり	井上 雅彦(教職研究科 教授)	旧学習指導要領と新学習指導要領の関連を示し、「主体的・対話的で深い学び」が求められている背景を知る。さらに、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにはどのような単元や授業デザインが必要なのかを、多くの実践例をもとにして明らかにし、今後の国語科の授業づくりのポイントを示す。
選択 2008	魅力ある社会科授業の創造	角田 将士(産業社会学部 教授)	ともすれば暗記学習に留まりがちな社会科授業をどうすれば魅力あるものへと変革していくことができるのか。本講習では、授業改善の視点となる社会科教育についての理論的、実践的な知見を踏まえながら、日々の授業改善の方向性や、その基盤となる社会科教育に対する本質的な理解をめざす。
選択 2009	「地理総合」から学ぶ 新しい社会科授業づくり	加藤 敦史(教職研究科 准教授) 矢野 桂司(文学部 教授)	2022年度から高等学校地歴科において「地理総合」が必修科目となる。そのため、世界史、日本史、公民などの地理を専門としない教員や小・中学校の教員にも学んでいただけるものとし、新しい地理教育とは何かを行う。本講では、「地理総合」中心として、地理的見方・考え方、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを目指す。また、GISの基本的な考え方や技術を習得し、どのような教材開発が可能かを議論する。
選択 2010	平和教育の多様な展開	金森 絵里(経営学部 教授) 勝村 誠(政策科学部 教授) 安齋 育郎(名誉教授) 薬師寺 公夫(名誉教授)	平和教育の意義とねらいについて、現代の平和学における「平和」の概念を明確にする中で、その焦点を定めていく。さらに立命館大学国際平和ミュージアムの展示のあり方や展示物を通して、平和教育の方法についての考察を行い、平和教育の具体的な事例研究から、その新しい試案づくりによって、平和教育の充実をはかる力量をつける。
選択 2011	児童生徒理解・支援のための モチベーション心理学	伊田 勝憲(教職研究科 教授) 神藤 貴昭(教職研究科 教授)	生活意欲と学習意欲の両面から児童生徒の理解と支援を構築するため、動機づけ(モチベーション)に関する心理学・学習科学の知見を総合的に取り上げる。内発的・自律的動機づけの概念など、汎用性の高い「自己決定理論」を中心に、無気力、自己効力感、自己調整学習、教師の信念などを切り口として、教科等の学習、メンタルヘルス、貧困、キャリア発達、ジェンダー等、学校教育をめぐる今日的課題への対応を模索する。